



つなみ 津波てんでんこ

「てんでん」は、「めいめい」とか「各自」という意味で、「津波てんでんこ」とは、「津波のときは、一人一人がてんでんばらばらになって、少しでも早く高いところのにげなさい」という三陸地方に伝えられる心得だそうです。

津波のい力や速さは、わたしたちの想像をはるかにこえています。三陸地方は、何度も津波に苦しめられました。

「津波てんでんこ」とは、自分の身は自分で守るという決意だけでなく、津波のとき、そばにはいない家族や友人の行動を信じ、そのためにふだんから最善の備えをしておくという、三陸地方の人々の強い思いが感じられる心得ではないでしょうか。